

岡山県地域医療支援センター

年次 報告書

2024 年 1 月～ 12 月



表紙「津山城（鶴山公園）」（津山市）について

「日本 100 名城」・「日本さくら名所 100 選」に選ばれている津山市のシンボルです。本能寺の変で討死した森蘭丸の弟、森忠政が 1616 年に築城しました。

津山市を含む津山・英田圏域では地域枠卒業医師 10 人（うち産婦人科医 3 人）が地域勤務をしています。



◇◇◇ 目 次 ◇◇◇

I. ごあいさつ.....	2
II. 地域枠卒業医師のキャリア形成支援.....	4
1. 第 11 回 地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ ー持続可能な地域医療をどのように創造するかー.....	4
2. 地域枠支援会議.....	5
3. 地域枠卒業医師との面談.....	5
4. 地域枠学生との個別面談・希望進路ヒアリング.....	5
III. 地域の医療機関への地域枠卒業医師の配置.....	6
1. 地域勤務病院決定までの流れ（2024 年 1 月～ 12 月）.....	6
2. 地域枠卒業医師の勤務状況等（2024 年 4 月現在）.....	6
3. 地域枠卒業医師の配置方針・配置希望調査とマッチング結果（2025 年 4 月配置予定）.....	7
3- 1. 前期配置候補病院の選定条件（2025 年 4 月配置用）	
3- 2. 後期配置候補病院の選定条件（ “ ）	
3- 3. 地域枠卒業医師の状況（2024 年 4 月時点・2025 年 4 月予定）	
4. 地域枠卒業医師数の推移（2024 年 12 月予測）.....	9
5. マッチング対象者の推移（2024 年 12 月予測）.....	9
IV. 地域医療を支える未来の医療人の育成・確保支援.....	10
1. 2024 年度地域枠学生・自治医科大学生合同セミナー	10
2. 地域枠ミーティング.....	12
3. 岡山大学入試・自治医科大学入試.....	12
4. キャリアサポートセミナー（地域枠卒業医師・在学生）.....	12
5. 地域枠制度説明会（在学生・卒業生）.....	12
6. 岡山県知事と地域枠学生・自治医科大学生との懇談会.....	13
7. 自治医科大学卒業医師と地域枠卒業医師の義務年限終了者と保健医療部長の意見交換会.....	13
8. 地域枠制度説明会（入学予定者・保護者）.....	13
9. 岡山大学の地域医療実習.....	14
10. 岡山県地域医療支援センター主催の実習.....	14
11. 第 11 回 岡山県臨床研修連絡協議会.....	14
12. 勉強会・講習会（地域枠・自治医科大学（在学生・卒業医師））.....	14
V. 地域枠卒業医師の着任環境の整備に関する助言・支援.....	16
1. 地域の医療機関の訪問.....	16
VI. 連携協力・情報発信.....	17
1. 岡山県医療対策協議会への出席.....	17
2. 第 14 回 中四国地域医療フォーラムへの参加.....	18
3. 「地域枠制度についての意見交換会」への参加.....	18
4. 第 15 回全国シンポジウム『地域推薦枠の卒前・卒後教育をどうするか？』への参加.....	18
5. ホームページ・facebook による情報発信	19
VII. 定例会の開催など.....	20

I. ごあいさつ

岡山県地域医療支援センター

センター長 忠田 正樹



地域医療に携わる皆さまには平素より当センターの事業にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本年はコロナ禍による行動制限が解除されセンターの各種行事もコロナ禍以前と同程度に実施することができました。このたび2024年の当センターの報告書をお届けいたしますのでご覧いただけますと幸いです。

特に今回は高梁市において数年ぶりに1泊2日の行程で「地域枠学生・自治医科大学生合同セミナー」を開催することができました。市内の病院や診療所の訪問に加え、吹屋ふるさと村や成羽美術館見学など時間的に余裕のある行動ができたと思います。地域の環境を知りその地域の医療現場を直接見ることは、医学生たちがその地域での将来の勤務状況を具体的にイメージするうえで大変有意義であったと考えます。

開催に当たって高梁市役所地域医療連携課の皆さまには多大なるご協力を賜り深く感謝申し上げます。今後もこのような合同セミナーを県内の各圏域で開催し、医学生と現場の行政や地域医療に関わる方々との交流の機会をさらに増やしていければと考えております。関係者の皆さまには今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。

その他の事業につきましては詳細を報告書に記載しておりますので、併せてご参照ください。

さて、2024年4月現在岡山県内で地域勤務をしている地域枠医師は前期・後期配置を合わせて29名となっております。2017年に2名の前期配置で始まった地域枠医師の地域勤務ですが、この7年間で順調に医師数および配置病院数が増加してまいりました。そして2024年3月には、岡山県地域枠としては初めて3名の医師が9年間の義務年限を終了し一旦地域勤務を離れますが今後の活躍が期待されます。

一方でいくつかの課題も明らかになってきております。

一つ目は配置希望病院への地域枠医師の複数配置の可能性についてです。これから4年間は地域勤務医師数が増加すると予想されており（報告書9ページの図をご参照ください）、病院によっては地域枠医師の複数配置が可能となる見込みです。すでに複数配置を希望している病院もありますので、どのように配置を進めるかが検討事項の一つです。ところが数年先には募集定員の減少に伴い義務年限内の配置対象となる医師数が減少に転じることも予想されます（同図参照）。

二つ目は地域勤務医師の産前産後休暇、育児休業、あるいは病気休業への対応です。これは非常に難しい課題です。過去にも育休や病休を取得する事例がありましたが、その際は当該病院内で対応していただきました。しかしながら可能であれば代替医師を派遣するなどの対応が望まれます。この課題に関しては当センターとしても地域枠卒業医師の方々と相談しながら、対処方法を検討してゆきたいと考えております。

以上、皆さまには引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。

岡山県地域医療支援センター
岡山大学支部

専任担当医師 兼
キャリアコーディネーター 野島 剛



2024 年も岡山県地域医療支援センター岡山大学支部をご支援いただき、誠にありがとうございました。
また日々地域医療に尽力してくださる皆様に心より感謝申し上げます。

今年度、地域医療支援センターでは地域医療に従事している皆様とともにワークショップなどを通じて地域医療の発展に必要な取り組みを考える機会を持つことができました。同時に地域医療の現状や課題についても多くの学びを得ることができました。ここでは私自身が感じる地域医療の本質と課題について述べさせていただきます。

「地域医療」とは「医師不足地域で働くこと」という単純な概念ではありません。それは住民と医療が接点を持つ場であり、地域社会の基盤を支える医療そのものです。地域医療がなければ住民の健康を守ること
も地域社会を維持することもできません。内科や外科を問わずあらゆる診療科が地域医療を支えています。

一方、多くの医師が「地域医療」に携わっているという意識を持つことは少ないように感じます。特に大病院の医師は「地域医療とは無縁」と考えがちです。しかし医療機関の大小を問わず、地域社会を支える医療を行っている限りそれは地域医療の一環です。この認識を持つことで地域医療への理解と意識を広げる第一歩となります。

例えば都市部の大規模病院であっても地域の医療機関と連携し患者が地域内でスムーズに治療を受けられる仕組みを整えている場合、それもまた地域医療ではないでしょうか。「特別なことをしているのではなく日々の診療が地域を支える地域医療の一部である」と気づくことで地域医療の重要性が自然に広がると考えます。

次に医師不足地域の課題について触れます。この問題を解決するには単に医師数を増やすだけではなく地域で長く働く意思を持った医師を育成する仕組みが必要です。医師経験年数初期から地域に携わり続ける医師を増やすことも重要ですが、加えて「一旦スキルを磨いてから地域に戻りたい」、「地域で働きたいが今後も知識や技術を学んでいきたい」と考える医師を支援することも不可欠です。都市部の病院で高度な技術を習得した医師が故郷や縁のある地域に戻り、そこで得た経験を活かせる環境を整備することが鍵となります。「週に1回は都市部の病院で自分の技術・経験を活かしたい」というような医師を支援する制度を拡充してみることも地域に従事する医師を増やす方法のひとつではないでしょうか。

地域医療は住民の健康と地域社会全体の安定を支える基盤です。すべての医師がその重要性を認識しそれぞれの立場で貢献することが地域医療の未来をさらに明るいものにすると信じています。そして地域医療に貢献したいと考える医師を一人でも多く育て支えることが医師不足地域の再建につながると考えます。

2025 年も皆様とともに地域医療の未来を築いていけることを願っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

II. 地域枠卒業医師のキャリア形成支援

1. 第11回 地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ ー持続可能な地域医療をどのように創造するかー

午前の部では2024年度末をもって義務年限を終了する地域枠第1期生と義務を終了した自治医科大学卒業医師にこれまでの経験や今後のことなどについてお話ししていただきました。午後からはどのようにすれば理想の地域医療に近づけるか、グループワークを通して皆さんから様々な提案をしていただきました。

概 要	
日 程	2024年7月28日(日) 10:00～16:30
開催場所	サンビーチ・OKAYAMA
主 催	岡山県地域医療支援センター
共 催	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座、岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 地域医療共育推進オフィス、岡山県へき地医療支援機構、NPO法人岡山医師研修支援機構
テ ー マ	持続可能な地域医療をどのように創造するか
参 加 者	岡山県内の病院関係者、大学・大学病院関係者、地域枠学生・卒業医師、自治医科大学大学生・卒業医師、県内市町村・保健所 等 計55人
スタッフ等	岡山県地域医療支援センター 岡山県地域医療支援センター 岡山大学支部 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 地域医療共育推進オフィス 岡山県 保健医療部 医療推進課

プ ロ グ ラ ム			
10:00	(午前の部) 開会 開会あいさつ	岡山県地域医療支援センター センター長 忠田 正樹	
10:05	「地域枠卒業医師の配置候補病院の選定方法」 岡山県地域医療支援センター 岡山大学支部 専任担当医師 兼 キャリアコーディネーター 野島 剛		
10:35	地域枠卒業医師からの報告① 自治医科大学卒業医師からの報告 地域枠卒業医師からの報告② 地域枠卒業医師勤務病院からの報告	医療法人三水会 田尻病院 医療法人仁和会 神野病院 医療法人共愛会 芳野病院 医療法人共愛会 芳野病院	医師 脇地 一生 医師 大森 翔 医師 竹内 研一 理事長 藤本 宗平
11:35	質疑応答		
11:55	(午前の部) 閉会 閉会あいさつ	岡山大学学術研究院医歯薬学域 地域医療人材育成講座 教授 小川 弘子	
12:00	～ 昼 食 ～		
13:00	(午後の部) グループワーク「持続可能な地域医療をどのように創造するか」 司会：岡山大学学術研究院医歯薬学域 地域医療人材育成講座 ・アイスブレイク 岡山大学学術研究院医歯薬学域 地域医療共育推進オフィス 特任准教授 香田 将英 ・グループ討議	教授 佐藤 勝	
15:20	(休憩)		
15:30	・グループ発表		
16:10	・総合討論		
16:25	閉会あいさつ 閉会	岡山県 保健医療部 医療推進課 課長 坂本 誠	

2. 地域枠支援会議

岡山県地域医療支援センター、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療人材育成講座、県医療推進課の関係者が一堂に会する「地域枠支援会議」を定期的に開催し、地域枠制度の望ましい運用方法やそれぞれの取組状況等について協議しました。

2月	13日（第78回）	9月	4日（第83回）
3月	19日（第79回）	10月	29日（第84回）
5月	14日（第80回）	11月	26日（第85回）
7月	9日（第81回）	12月	24日（第86回）
8月	27日（第82回）		

3. 地域枠卒業医師との面談

地域勤務・選択研修（専門医研修）・初期臨床研修をしている地域枠卒業医師と個別に面談を行い、勤務の状況や研修の様子、今後のキャリアについて相談を受けました。

2月 ～11月	地域枠卒業医師（～卒後10年目）
------------	------------------

4. 地域枠学生との個別面談・希望進路ヒアリング

地域枠学生と個別に面談し、大学生活・学業・将来について話を聞き、アドバイスを行いました。また、卒業が間近になった6年生の面談では、現時点で想定する卒後9年間のキャリアプラン、将来専攻を希望する診療科等についてのヒアリングを行いました。

2月

岡山大学地域枠学生（6年生）

4月

岡山大学地域枠学生（1～6年生）

～8月

12月

岡山大学・広島大学地域枠学生（6年生）

学年

1年生

2年生

3年生

4年生

5年生

6年生

計

岡山大学

4

4

4

4

4

5

25

広島大学

1

4

5

計

4

4

4

5

4

9

30

（在学生の内訳、2024年4月現在）

Ⅲ. 地域の医療機関への地域枠卒業医師の配置

「地域枠卒業医師の配置希望調査」等を行い、卒後 3・4 年目の地域枠卒業医師が地域勤務する（以下、「前期配置」という）病院と卒後概ね 7 年目以降の地域枠卒業医師が地域勤務する（以下、「後期配置」という）病院の候補を選定し、対象となる医師とのマッチングを行っています。なお、産婦人科については、マッチングの対象外としています。

1. 地域勤務病院決定までの流れ（2024 年 1 月～ 12 月）

【2024 年 4 月配置 地域勤務病院の指定から勤務開始まで】

2 月	28 日	知事が 12 病院を地域枠卒業医師の地域勤務病院に追加指定
4 月		地域勤務開始（配置医師数 29 人、27 施設）

【2025 年 4 月配置 調査から勤務病院の公表まで】

4 月	12 日	①「地域枠卒業医師の配置希望調査（病院）」の実施（～ 5/13）
	〃	②「地域医療に関する取組調査（市町村）」の実施（～ 5/13）
7 月	8 日	「令和 6 年度 第 1 回 岡山県医療対策協議会」 ・「令和 7 年度地域枠卒業医師の配置方針」が決定した。
8 月	5 日	地域枠卒業医師の 2024 年度の勤務希望の確認（～ 8/22） ・前期配置 9 人、後期配置 4 人が地域勤務を希望した。
9 月	4 日	2025 年 4 月から地域勤務を開始する地域枠卒業医師の配置候補病院決定 ・地域枠卒業医師の配置を希望する病院の中から、前期配置 9 施設・後期配置 5 施設を候補病院として選定した。 前期配置…高梁・新見（1）、真庭（2）、津山・英田（2）、県南東部（2）、県南西部（2） 後期配置…高梁・新見（2）、真庭（1）、津山・英田（1）、県南東部（1）、県南西部（0）
10 月	6 日	「令和 6 年度 地域枠卒業医師と勤務候補病院合同説明会」、マッチング開始 ・前期配置・後期配置別に候補病院によるプレゼンテーション、地域勤務を希望する医師の自己 PR、質疑応答、面談を行った。
11 月	22 日	勤務希望病院・採用希望者の順位表提出期限
12 月	10 日	2025 年 4 月から地域勤務を開始する病院の公表（配置医師数 31 人、27 施設） 各病院の採用手続きを経て、2025 年 3 月上旬までに知事が地域勤務病院の指定を行う予定。

2. 地域枠卒業医師の勤務状況等（2024 年 4 月現在）

2023 年の地域枠卒業医師の配置希望調査とマッチングを経て、2024 年 4 月から地域枠卒業医師 12 人（前期配置 6 人・後期配置 6 人）が地域勤務を開始しました。

勤務状況 勤務年数	臨床研修	地域勤務のための配置 () 内はうち中断人数		選択研修 (2 年以内)	中 断 (地域勤務以外の 研修・育休等)
		前期・後期配置	産婦人科		
1 年目	4	6	1	8	2
2 年目	8	10 (1)	-	6	
3 年目		6	-		
4 年目		2	1		
5 年目		2	1		
計	12	26 (1)	3	14	2



3. 地域卒卒業医師の配置方針・配置希望調査とマッチング結果（2025 年 4 月配置予定）

令和 6 年度第 1 回岡山県医療対策協議会で、「令和 7 年度 地域卒卒業医師の配置方針」が次のように決定しました。

- ・県北の保健医療圏の医師の充足状況を勘案した上で、県南の保健医療圏にも可能な範囲で配置すること
- ・後期配置については、病院の医師不足に重点を置くことや医師の専門性に配慮すること
- ・医師不足地域を管轄する県保健所等を地域勤務の対象とすること
- ・産婦人科については、速やかに専門医資格取得後に医師不足地域で勤務すること

以下の調査・分析を行い、配置方針に基づいて、2025 年 4 月から地域勤務を開始する医師の勤務候補病院として、前期配置 9 病院・後期配置 5 病院を選定しました。

- ①地域卒卒業医師の配置希望調査（対象：県内全 159 病院、調査期間：2024 年 4 月 12 日～5 月 13 日）
- ②地域医療に関する取組調査（対象：全 27 市町村、調査期間：2024 年 4 月 12 日～5 月 13 日）
- ③地域の医師不足・・・岡山県地域医療支援センターが、岡山県医療機能情報、厚生労働省の医師・歯科医師・薬剤師統計等のデータを元に分析

マッチングにより前期配置 9 人・後期配置 4 人の医師が 2025 年 4 月から勤務を開始します。配置を継続する者と合わせて前期配置 15 人 15 施設、後期配置 12 人 11 施設、産婦人科 3 人 1 施設、計 30 人 27 施設となる予定です。

3 - 1. 前期配置候補病院の選定条件（2025 年 4 月配置用）

(1) 地域卒 業医師の 配置希望調査 (病院)	①教育指導体制	教育担当者の有無、医学生・研修医の受入実績等、症例検討会の実施状況、若手が育つ環境が整えられているかどうか、学習環境の整備状況を評価	100 点満点で病院 を評価する。
	②地域で 果たしている役割	救急告示病院等の認定状況、地域の医療事情の把握・受療困難地域への対策、地域貢献に関わるビジョン等を評価	
	③待遇と勤務環境	雇用形態や給与、他施設での研修日の設定、休暇・休業の取得可否、働き方改革への取組状況等を評価	
	④救急車の受入状況	年間の救急車受入実績(常勤換算医師 1 人当たり・1 病床当たり)を評価	
	⑤新専門医制度への 取組状況	基本診療領域の基幹施設・連携施設・特別連携施設としての認定状況を評価	
	⑥経営状況	2 年間の医業利益率と医業収益(医師 1 人当たり)を評価	
(2) 地域医療に関する 取組調査(市町村)	自治体が行っている医療人材確保や地域医療充実のための施策等を評価		
(3) 地域の医師不足	医師数、医師の高齢化の状況、病院へのアクセス状況等を加味したうえで地域の医師不足状況を評価		二次保健医療圏ごとの候補 病院数決定の指標とする。

3 - 2. 後期配置候補病院の選定条件（2025 年 4 月配置用）

(1) 地域卒卒業医師の配置希望調査（病院）	①医師数・患者数と日直・当直の状況	常勤医師数・非常勤医師の勤務割合、常勤医師 1 人当たりの 1 日の患者数、日直・当直の勤務状況进行评估	100 点満点で病院を評価する。
	②救急車の受入状況	年間の救急車受入実績（常勤医師 1 人当たり・1 病床当たり）进行评估	
	③研鑽するための環境	医師の年齢構成、他施設での研修、学会・勉強会への参加可否、学習環境の整備状況进行评估、若手が育つ環境が整えられているかどうかの評価	
	④待遇と勤務環境	給与、休暇・休業の取得可否、保育制度の有無等进行评估	
	⑤地域貢献	後期配置を希望する理由、後期配置される医師へのアピール、地域貢献に関わるビジョン等の評価	
	⑥医師の専門性とのマッチ状況	病院の希望する診療科と勤務候補の医師の専門性とのマッチ状況の評価	
(2) 地域の医師不足	医師数、医師の高齢化の状況、病院へのアクセス状況等を加味したうえで地域の医師不足状況进行评估		二次保健医療圏ごとの候補病院数決定の指標とする。

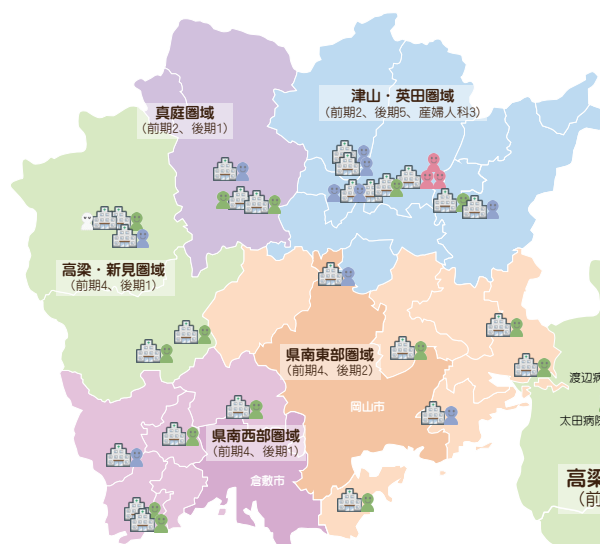
3 - 3. 地域卒業医師の状況（2024 年 4 月時点・2025 年 4 月予定）

※（ ）内はうち中断人数（3・4 年目の専門研修、育休等）

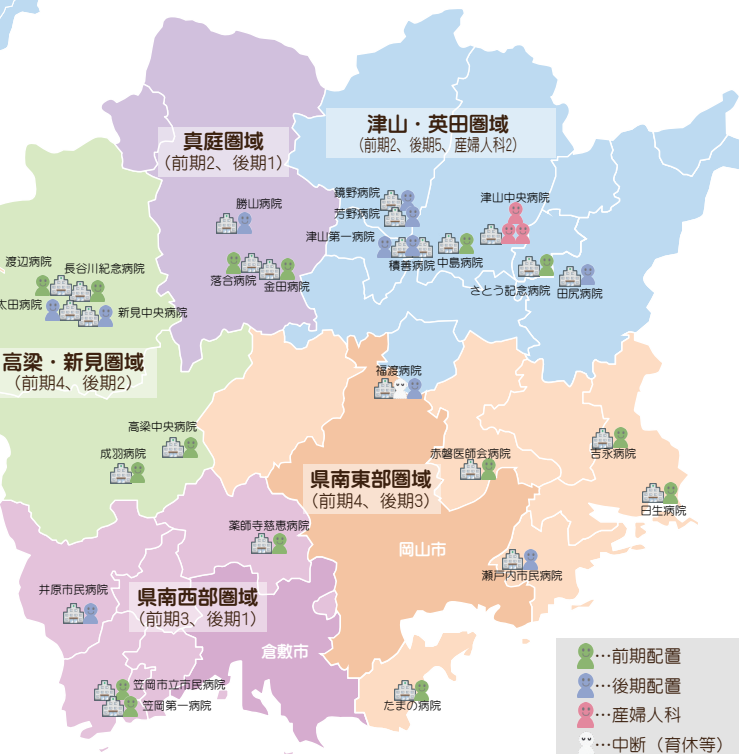
勤務 年月	地域勤務のための配置				人数	臨床研修 （基幹施設）	人数	専門研修等 （選択研修・中断）	義務終了 予定者数
	前期配置		後期配置	産婦人科					
2024 年 4 月～	高梁中央病院 成羽病院 長谷川記念病院 渡辺病院 落合病院 金田病院 さとう記念病院 中島病院	赤磐医師会病院 玉野市民病院 日生病院 吉永病院 笠岡市立市民病院 笠岡第一病院 矢掛病院 薬師寺慈恵病院	新見中央病院 勝山病院 鏡野病院 積善病院 田尻病院 津山第一病院 芳野病院	津山中央病院	29 (1)	岡山医療センター 岡山協立病院 岡山市立市民病院 岡山赤十字病院 岡山大学病院 津山中央病院	12	16 (2)	2025 年 3 月末 3 (累計 6)
2025 年 4 月～ (予定)	高梁中央病院 成羽病院 渡辺病院 落合病院 金田病院 さとう記念病院 中島病院 芳野病院	赤磐医師会病院 たまの病院 日生病院 吉永病院 笠岡市立市民病院 笠岡第一病院 薬師寺慈恵病院	長谷川記念病院 新見中央病院 太田病院 勝山病院 鏡野病院 積善病院 田尻病院 津山第一病院	津山中央病院	30 (1)	岡山医療センター 岡山協立病院 岡山市立市民病院 岡山赤十字病院 岡山大学病院 津山中央病院	13	20 (4)	2026 年 3 月末 1 (累計 7)

地域卒業医師の配置状況（地域勤務）

（2024 年 4 月現在、29 人）



（2025 年 4 月予定、30 人）

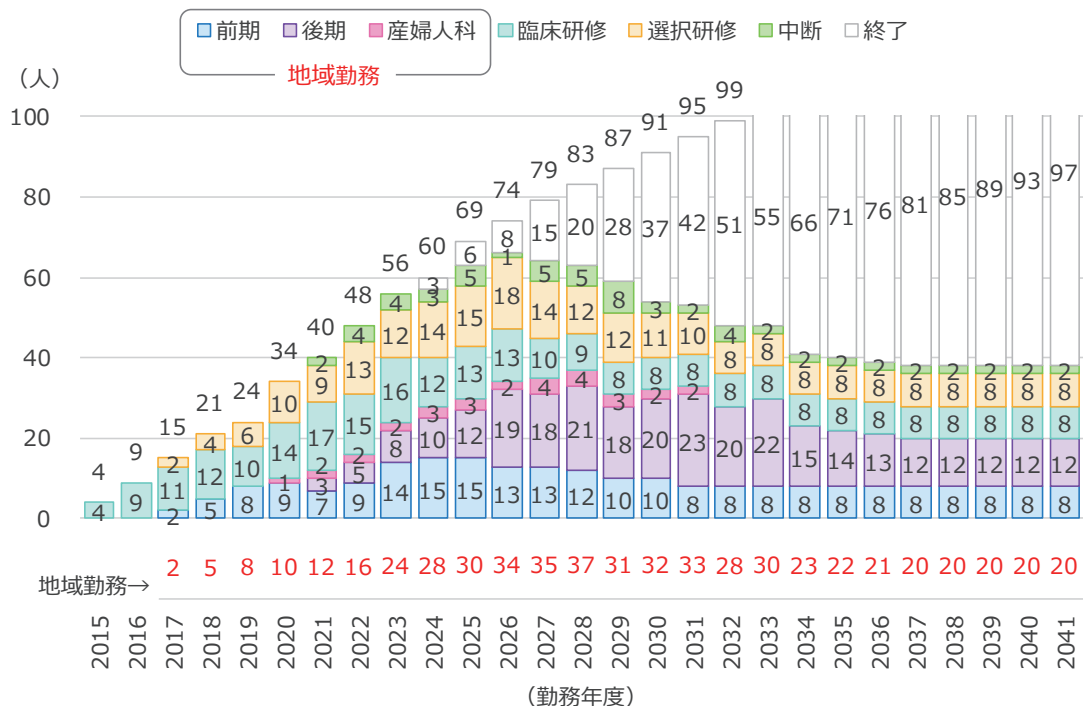


4. 地域卒卒業医師数の推移（2024 年 12 月予測）

学生募集定員は 2014 年から 2017 年までの間は 9 人でしたが、2020 年から 4 人になりました。グラフは 2026 年度以降の定員を 4 人と想定した場合の予測です。地域で勤務する医師は 2028 年のピーク時には 37 人、2033 年ごろまでは毎年 30 人前後になりますが、2034 年ごろからは 20 人程度で推移する見込みです。

2024年度末時点で義務年限を終了した者が6人、そのうち1人が2025年4月から津山・英田圏域（鏡野町）で継続して勤務する予定です。今後も地域に関わるような働き方をする医師が現れることを期待しています。

なお、この予測は募集定員の変更や個々のキャリアプラン、ライフイベントなどにより変動します。

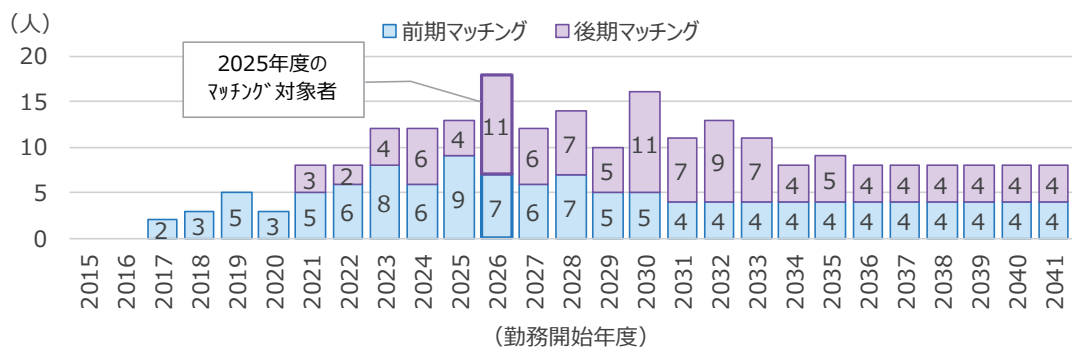


※ 2032年度以降の予測は、2026年度以降の学生募集定員を4人と想定しています。

「中断」とは義務年限の中断で、3年目以降の研修を行う者、育児休業等を取得する者などを集計しています。

5. マッチング対象者の推移（2024 年 12 月予測）

グラフは上図の地域勤務をする医師のうち、マッチング対象となる医師の推移を予測しています。



※ 2032年度以降の予測は、2026年度以降の学生募集定員を4人と想定しています。

マッチング実施は勤務開始年度の前年度です。

IV. 地域医療を支える未来の医療人の育成・確保支援

1. 2024 年度 地域枠学生・自治医科大学生合同セミナー

岡山大学の地域枠学生、自治医科大学生と自治体の奨学生が集まる合同セミナーは今年 14 回目となりました。2019 年以来、コロナ禍を経て 5 年ぶりに宿泊を伴う地域での開催となりました。このセミナーを通して地域のことを知り、将来共に医療を支えることになる先輩や後輩、地域の方々と何かあれば助け合えるような緩やかなつながりができることを期待しています。

学生たちは 2 グループに分かれて高梁市内の病院や診療所を訪問し、実際に地域医療に関わる訪問先の病院長、所長や地域枠卒業医師、自治医科大学卒業医師から地域での働き方やキャリア形成に関わる経験等を拝聴しました。また高梁市地域医療連携課のご協力を得て、市長にご講話いただいたり、成羽美術館の見学や吹屋でのベンガラを使用した染物体験なども行いました。参加者はグループワークや宿泊、吹屋ふるさと村での散策等を通して親睦を深めることができました。

概	要
日 程	2024 年 8 月 17 日（土）・18 日（日）
開 催 地	高梁市（高梁中央病院・成羽病院・備中診療所・川上診療所・成羽美術館・たいこまるプラザ・吹屋ふるさと村 等）
参加学生 ・卒業医師	岡山大学医学部医学科 岡山県・鳥取県・広島県・兵庫県地域枠（25） 自治医科大学（12） 県内市町村奨学生（高梁市・笠岡市）（4） 地域枠卒業医師（4）
スタッフ等	岡山県地域医療支援センター（1） 岡山県地域医療支援センター岡山大学支部（1） 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座（4） 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 地域医療推進オフィス（1） 岡山県保健医療部・岡山県保健医療部 医療推進課（3）10 人

45 人



「我慢をさせない災害支援」（たいこまるプラザ）



クイズ（たいこまるプラザ）



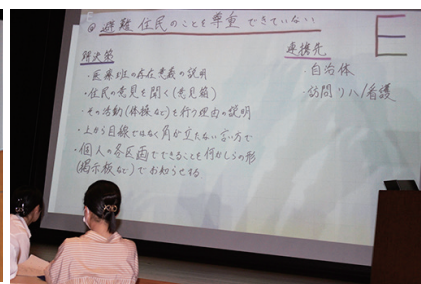
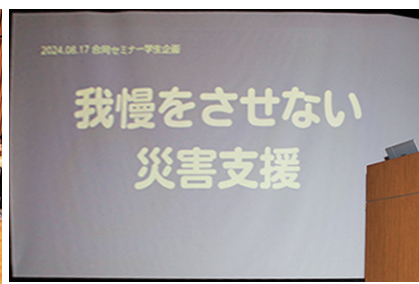
戸田院長 講話（高梁中央病院）



成羽病院 真壁院長 案内（備中診療所）



成羽美術館



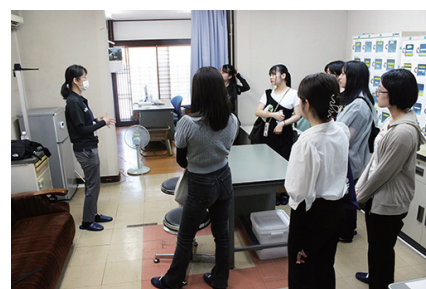
学生企画「我慢をさせない災害支援」（たいこまるプラザ）

プログラム（主な内容）

8 : 45	岡山大学鹿田キャンパス出発
9 : 00	（経由地）岡山駅西口出発
10 : 00	（奇数学年）高梁中央病院 訪問 ・戸田桂介院長、渋谷香苗医師 講話 ・施設見学
10 : 15	（偶数学年）成羽病院訪 訪問 ・真壁幹夫院長、藤原洋平医師 講話 ・施設見学
12 : 20	昼食
13 : 30	（奇数学年）備中診療所 訪問 ・成羽病院 真壁幹夫院長 講話 ・施設見学
13 : 35	（偶数学年）川上診療所 訪問 ・菅原英次所長 講話 ・施設見学
14 : 35	成羽美術館 訪問 ・館長 講話 ・館内見学
15 : 40	たいこまるプラザ 到着 ・高梁市長 講話 ・学生企画「我慢をさせない災害支援」 ・アイスブレイク ・グループワーク ・フィードバック ・「JMATの活動」岡山大学病院 救急科 田邊綾医師
19 : 00	夕食・宿泊（高梁国際ホテル）
7 : 30	朝食
10 : 00	吹屋ふるさと村 訪問 ・吹屋診療所 見学 ・街並み散策 ・染物体験
12 : 00	旧吹屋小学校 集合 ・昼食 ・施設内見学 ・奨学金制度説明会（制度ごと）
16 : 00	（経由地）岡山駅西口 到着
16 : 10	岡山大学鹿田キャンパス 到着



吹屋診療所



吹屋診療所



染物体験



吹屋小学校



参加者の皆さん



奨学金制度説明会（吹屋小学校）

2. 地域枠ミーティング

1月	16日
4月	17日
7月	2日
10月	22日

岡山大学医学部医学科の地域枠学生（岡山県枠・広島県枠・鳥取県枠・兵庫県枠）が、学生主導でレクリエーションや学習を行いました。学年を超えて、地域医療を目指す仲間が親睦を深める機会になっています。



3. 岡山大学入試・自治医科大学入試

2024 年度岡山大学医学部医学科・自治医科大学医学部入学試験の実施に協力しました。

1月	20日	2024年度岡山大学医学部医学科地域枠コース・岡山県 面接試験
	23日	2024年度自治医科大学医学部入学試験第一次面接試験

4. キャリアサポートセミナー（地域卒卒業医師・在学生）

2024年3月をもって義務年限を終了する地域卒卒業医師3人への感謝の気持ちを伝えるとともに彼らの講演やパネルディスカッションを通して自分達の今後のキャリアについて考えました。

3月 | 9日



5. 地域枠制度説明会（在学生・卒業生）

3月	26日	(在学生・卒業生)
8月	18日	(在学生)

地域枠学生に岡山県の地域枠制度の背景や趣旨、今後のサポート体制について周知しました。



6. 岡山県知事と地域枠学生・自治医科大学大学生との懇談会

3月 | 26日

岡山大学の地域枠学生、広島大学のふるさと枠学生、自治医科大学大学生が伊原木知事と懇談を行いました。卒業生7人が医師国家試験合格の報告と修学支援のお礼、地域医療に取り組む決意などを伝え、知事からは激励の言葉をいただきました。また岡山大学からは在校生13人が参加し、代表が卒業生へのはなむけの言葉、知事への感謝を述べました。なお広島大学・自治医科大学の在校生14人はオンラインでの参加となりました。



7. 自治医科大学卒業医師と地域枠卒業医師の義務年限終了者と保健医療部長の意見交換会

2023年度末をもって義務年限を終了する自治医科大学卒業医師1人と地域枠卒業医師3人が岡山県保健医療部の梅木和宣部長にお会いし、これまでの経験や今後の抱負などについて意見交換を行いました。

3月 | 28日



8. 地域枠制度説明会（入学予定者・保護者）

岡山大学の医学部医学科地域枠コースの入学予定者に対して、保護者同席のもと岡山県の地域枠制度の趣旨と医学生としての心構えなどについて説明しました。また、入学予定者の皆さんには、自己紹介や入学後の抱負などについて話していただきました。

4月 | 2日

9. 岡山大学の地域医療実習

岡山大学の実習オリエンテーションで情報の取り扱いについて説明しました。一部の学生の実習期間中の日報に対するコメントも担当しています。

- | | | |
|--------------------|-------|-----------|
| ・選択制臨床実習 | (6年生) | オリエンテーション |
| ・地域医療体験実習 1期・2期・3期 | (3年生) | 〃 |
| ・早期地域医療体験実習 | (1年生) | 〃 |

10. 岡山県地域医療支援センター主催の実習

3月	11～15日	哲西町実習
8月	13～16日	離島実習
	19～23日	哲西町実習
9月	24～27日	離島実習



11. 第11回 岡山県臨床研修連絡協議会

臨床研修の質の向上・環境の改善・臨床研修医の確保や岡山県の臨床研修病院に関わる情報の共有・発信を目的として、県内の臨床研修病院（15施設）の研修責任者等が協議を行いました。

12月 | 27日

【協議内容】

- ・2024年度 臨床研修を開始した研修医アンケート調査結果（2024年4月実施）
- ・臨床研修2年目の医師の満足度等調査結果（2024年1月実施）
- ・2025年度 臨床研修医のマッチング結果
- ・2026年度から臨床研修を開始する研修医の募集定員上限（国からの情報等を提供）

12. 勉強会・講習会（地域枠・自治医科大学（在学生・卒業医師））

岡山県地域医療支援センター岡山大学支部と岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座と地域医療共育推進オフィスの共催で、スキルアップのための講習会などを開催しました。地域枠卒業医師も講師として後輩への指導に当たるなど、参加を希望する地域枠や自治医科大学の在学生と卒業医師、研修医等と一緒に学びながら絆を深められる機会になっています。



笠岡第一病院 ICLS



瀬戸内市民病院 ICLS



ゆるっとプレゼン

1月	12日	令和5年度第6回地域枠学生・卒業生勉強会〈講演会〉 『デジタルと医療』 講師：高崎 洋介（岡山大学 研究推進機構・一般社団法人 持続可能社会推進機構）
3月	3日	令和5年度第7回地域枠学生・卒業生勉強会〈実技講習会〉 『笠岡第一病院 ICLS』 講師：石田 智治（日本原病院（地域枠卒業医師）） 田邊 綾（笠岡第一病院救急科（地域枠卒業医師）） 野島 剛（岡山大学地域医療人材育成講座） 笠岡第一病院医師・看護師、岡山西大寺病院看護師、岡山大学病院医師・救命救急士・看護師
5月	11日	令和6年度第1回地域枠学生・卒業生勉強会〈講演会〉 『Difficult Patient への対応・医療者自身のケア ～トラウマインフォームドケアの視点～』 講師：中村 香代子（自治医科大学附属病院総合診療内科） 角田 みずゝ（ベル相談室） 川又 実紀（大谷地病院精神科）
11月	2日	令和6年度第2回地域枠学生・卒業生勉強会〈実技講習会〉 『瀬戸内市民病院 ICLS』 講師：岡 凌也（瀬戸内市民病院医師外科（地域枠卒業生）） 野島 剛（岡山大学地域医療人材育成講座） 瀬戸内市民病院看護師、岡山西大寺病院看護師・岡山大学病院看護師
12月	3日	令和6年度第3回地域枠学生・卒業生勉強会〈講演会〉 『薬師寺泰匡先生講演会 ゆるっとプレゼン』 講師：薬師寺 泰匡（薬師寺慈恵病院）
12月	20日 21日	令和6年度第4回地域枠学生・卒業生勉強会〈実技講習会〉 『岡山 CPVS コース』 講師：入江 聡五郎（入江病院） 嘉陽 宗司（大浜第一病院看護管理室） 山手 敦史（島根大学医学部附属病院 高度外傷センター） 石田 智治（勝山病院内科（地域枠卒業生）） 森定 なずな（岡山市立市民病院 卒後臨床教育研修センター） 伴場 友香（岡山市立市民病院 卒後臨床教育研修センター） 小川 弘子（岡山大学地域医療人材育成講座）

V. 地域枠卒業医師の着任環境の整備に関する助言・支援

1. 地域の医療機関の訪問

地域の医療機関を訪問し、地域枠卒業医師の働き方や指導体制・バックアップ体制等についてお聞きしたり、地域の医療事情や地域における病院の役割・将来像、救急の受入状況等についての意見交換を行いました。

2024年4月から新たに地域枠卒業医師が勤務を開始する病院には着任前にオンラインで訪問し、着任後に改めて現地を訪問しました。

2月	19日	備前市立日生病院（オンライン）
	20日	岡山市久米南町組合立国民健康保険 福渡病院（オンライン）
		医療法人美甘会 勝山病院（オンライン）
3月	4日	医療法人 さとう記念病院（オンライン）
7月	18日	備前市立日生病院（備前市）
		備前市立備前病院（備前市）
	19日	医療法人 さとう記念病院（勝央町）
		岡山市久米南町組合立国民健康保険 福渡病院（岡山市）
	22日	医療法人美甘会 勝山病院（真庭市）



※ 各医療機関のホームページのスクリーンショットを掲載しています。

VI. 連携協力・情報発信

1. 岡山県医療対策協議会への出席

令和6年度第1回の協議会では令和7年4月から勤務を開始する「地域枠卒業医師の配置方針」と「令和7年度の地域枠の設定」（岡山大学医学部医学科地域枠コースの募集定員4人等）について協議を行いました。

2月	16日	第39回岡山県医療対策協議会（令和5年度第5回、杜の街グレース 3F Bホール） 報告事項（1）「第9次岡山県保健医療計画」素案に対する県民意見等の募集結果について （うち第2期医師確保計画（前期）（案）に寄せられたご意見） （2）令和6（2024）年度先行医の領域別採用状況について 協議事項（1）令和7（2025）年度臨床研修病院の募集定員について （2）技能向上集中研修期間（C-1）の指定について
7月	8日	第40回岡山県医療対策協議会（令和6年度第1回、ピュアリティまきび 3階 橘） 議題（1）岡山県地域医療支援センターの運営について ①令和5年度事業実績及び令和6年度事業計画（案） ②令和7年度地域枠卒業医師の配置方針（案） （2）岡山県へき地医療支援機構の運営について （令和5年度事業実績及び令和6年度事業計画（案）） （3）令和7年度の地域枠の設定について （4）令和4年医師・歯科医師・薬剤師統計の結果について（報告）
10月	3日 ～18日	第41回岡山県医療対策協議会（令和6年度第2回、書面開催） 議題（1）自治医科大学卒業医師のキャリア形成プログラムの策定について
11月	13日 ～18日	第42回岡山県医療対策協議会（令和6年度第3回、書面開催） 議題（1）2025年度専攻医募集シーリングに係る県から国への意見について（報告） （2）2025年度専攻医募集においてシーリング枠外とする地域枠・自治医科大学卒業医師について

2. 「第14回 中四国地域医療フォーラム」への参加

平成22年より、中四国各県の関係者が集まり地域枠制度の運営に関する情報交換を行っています。

概		要
日 程	2024年2月10日（土） （プレ集会15:00～17:30、本会9:00～14:45）	
主 催	鳥取大学医学部地域医療学講座 鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課 鳥取県地域医療支援センター	
目 的	各大学の地域医療教育、各県の地域医療の現状や取組を学ぶ会として開催されている。特に地域枠制度の運営に関する情報交換を目的としている。	
テ ー マ	「地域医療教育のエッセンスを考える」	
議 題	（1）各県大学の発表「”推し”の地域医療教育について」 （2）ワールドカフェ 『地域医療教育で最も大事なこと』 『それを実現するための方略・評価』 （3）地域枠卒業医師によるキャリア講演	
出 席 者	中四国各県の地域医療に関わる大学関係者、県行政担当者、地域医療支援センター職員、地域枠卒業医師、地域枠学生 等	

3. 「地域枠制度についての意見交換会」への参加

平成 29 年度より、全国の大学・自治体・地域医療支援センターの担当者が集まり、地域の医療及び医師養成のあり方に関する委員会等の有識者や文部科学省・厚生労働省の担当者を交えて、地域枠制度の実効性確保を目的として開催されています。

	概	要
日 程	2024 年 2 月 24 日（土）11：00 ～ 17：00	
主 催	一般社団法人全国医学部長病院長会議（AJMC） 同 地域の医療及び医師養成のあり方に関する委員会	
目 的	地域枠制度等の地域医療に関する最新の話題を共有し、関係者の相互理解を深める目的としている。	
議 題	（１）講演 （２）グループワーク ・「不同意離脱」の判断基準とその意思決定プロセスについて ・離脱防止のために取り組んでいること ・離脱の理由について （３）グループ発表 （４）総合討論	
出 席 者	各都道府県の地域医療担当者・地域医療支援センター担当者・大学の地域医療関連講座代表者、全国医学部長病院長会議（委員長・委員・事務局）、厚生労働省医政局医事課担当者、文部科学省高等教育局医学教育課担当者	

4. 「第 15 回 全国シンポジウム『地域推薦枠の卒前・卒後教育をどうするか？』」への参加

平成 21 年より、「地域推薦枠の卒前・卒後教育をどうするか？」というテーマのもとに関係者が事例報告などを行っています。今年は地域枠 1 期生 4 人がシンポジストとして登壇しました。

	概	要
日 程	2024 年 3 月 1 日（金）13：00 ～ 16：30	
主 催	鹿児島大学大学院医歯薬総合研究科 地域医療学分野／離島へき地医療人材育成センター 鹿児島大学医学部 一般社団法人全国地域医療教育協議会	
後 援	鹿児島大学病院 地域医療支援センター	
目 的	4 都道府県・4 大学のキャリア形成プランの策定と運用に関わる取組事例を参考にその課題や対策について考える。	
テ ー マ	「地域枠 1 期生からの示唆」	

基 調 講 演 「地域枠現状とキャリア形成支援について」
 演者：染谷 拓郎 先生（厚生労働省 医政局 地域医療計画課 主査）
 「研修医・専攻医の状況 地域枠制度の効果」
 演者：大脇 哲洋 先生（鹿児島大学 離島へき地医療人材育成センター／地域医療学分野 教授）

話 題 提 供 鹿児島大学での調査結果「地域枠医師の専攻取得とキャリアの現状と個別の意見」
 演者：東 佳子 先生（鹿児島大学病院 地域医療支援センター 副センター長）

シンポジウム 地域枠卒業医師 1 期生 4 人（新潟大学・岐阜大学・長崎大学・鹿児島大学卒業生）

出 席 者 地域枠医学生に関する事象に携わる自治体・大学・学生・医療機関・地域医療支援センター関係者等

第15回全国シンポジウム
 「地域推薦枠の卒前・卒後教育をどうするか？」
 ～地域枠1期生医師からの示唆～

基調講演
 「地域枠現状とキャリア形成支援について(仮題)」
 厚生労働省医政局 医事課 主査 染谷 拓郎 先生
 「研修医・専攻医の状況 地域枠制度の効果」
 鹿児島大学 離島へき地医療人材育成センター／地域医療学分野 教授 大脇 哲洋 先生

話題提供
 鹿児島大学での調査結果「地域枠医師の専攻取得とキャリアの現状と個別の意見」
 鹿児島大学病院 地域医療支援センター 副センター長 東 佳子 先生

シンポジウム（地域枠卒業医師1期生）
 ① 2015年 新潟大学卒業 消化器内科専門 杉田 龍乃 先生
 ② 2014年 岐阜大学卒業 血液内科専門 金田 福人 先生
 ③ 2014年 長崎大学卒業 総合診療科専門 本村 裕徳 先生
 ④ 2015年 鹿児島大学卒業 消化器内科専門 齋藤 孝史郎 先生

司会
 長崎大学大学院医学部総合研究科 地域医療学分野 教授 永田 康浩
 鹿児島大学 離島へき地医療人材育成センター／地域医療学分野 教授 大脇 哲洋 先生

日時 2024年3月1日(金) 13:00～16:30 **一橋講堂** **参加費 無料**

対象者 地域枠医学生に関する事象に携わる自治体・大学・医療機関・地域医療支援センター関係者・学生・並びに関心のある方

お申し込み方法 開催申込締切：2024年1月28日
 現地会場参加 <https://forms.gle/7m7m7m7m7m7m7m7m>
 ZOOM/ウェビナー参加 <https://lms2024.zoom.us/j/8585858585858585>

主催 鹿児島大学大学院医歯薬総合研究科 地域医療学分野
後援 鹿児島大学医学部 離島へき地医療人材育成センター 一般社団法人 全国地域医療教育協議会
協賛 鹿児島大学病院 地域医療支援センター

お問い合わせ先
 鹿児島大学大学院医歯薬総合研究科 地域医療学分野 地域推薦枠医学生育成センター
 〒890-0055 鹿児島県鹿児島市下元町1-1-1 TEL 099-275-6000
 E-mail: info@lms2024.com Web: lms2024.com

配布資料印刷に限りがございます。予めご了承ください。

5. ホームページ・Facebook による情報発信

岡山県地域医療支援センターの活動状況の報告や分析資料の掲載、イベント開催のご案内を随時行っています。

・ホームページ「岡山県地域医療支援センター」

<https://chiikiiryouokayama.wixsite.com/centerokayama>

・ホームページ「岡山県地域医療支援センター岡山大学支部」

<https://www.okayama-u-chiikiokayama.jp/>

・Facebook「岡山県地域医療支援センター」

<https://www.facebook.com/>



岡山県内の臨床研修病院・大学病院と専門研修施設（基幹施設）のまとめサイトです。各施設の公式サイトや研修医の募集ページをご案内しています。

・「岡山県の医師研修病院」ホームページ

<https://chiikiiryouokayama.wixsite.com/for-resident>



VII. 定例会の開催など

1. 定例会の開催

毎週月曜日、岡山県医療推進課において、岡山県地域医療支援センターの運営について協議を行いました。



2024 年 の 主 な 行 事 な ど

2 月	10 日	「第 14 回 中四国地域医療フォーラム」への出席
	16 日	「第 39 回岡山県医療対策協議会」への参加
	19 日	病院訪問くオンライン>（日生病院）
	20 日	病院訪問くオンライン>（福渡病院、勝山病院）
	24 日	「地域枠制度についての意見交換会」への参加
3 月	1 日	「第 15 回全国シンポジウム『地域推薦枠の卒前・卒後教育をどうするか?』」への参加
	4 日	病院訪問くオンライン>（さとう記念病院）
	9 日	キャリアサポートセミナー
	26 日	岡山県知事と地域枠学生・自治医科大学学生との懇談会 地域枠制度説明会（地域枠学生対象）
	28 日	自治医科大学卒業医師と地域枠卒業医師の義務年限終了者と保健医療部長の意見交換会
4 月	1 日	地域枠卒業医師の地域勤務開始（前期配置 6 人、後期配置 6 人） 地域枠卒業医師の臨床研修開始（4 人）
	2 日	地域枠制度説明会（入学予定者・保護者対象）
	12 日	「地域枠卒業医師の配置希望調査（病院）」の実施（～ 5/13） 「地域医療に関する取組調査（市町村）」の実施（～ 5/13）
7 月	8 日	「第 40 回 岡山県医療対策協議会」（令和 6 年度第 1 回）への出席
	18 日	病院訪問（備前市立日生病院（備前市）・備前市立備前病院（備前市））
	19 日	病院訪問（さとう記念病院（勝央町）・福渡病院（岡山市））
	22 日	病院訪問（勝山病院（真庭市））
	28 日	「第 11 回 地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ ー持続可能な地域医療をどのように創造するかー」の開催
8 月	17 ～	「2024 年度地域枠学生・自治医科大学学生合同セミナー」の開催
	18 日	地域枠制度説明会（地域枠学生対象）
10 月	6 日	「令和 6 年度 地域枠卒業医師と勤務候補病院の合同説明会」の開催 地域枠卒業医師と候補病院のマッチング開始（～ 11/22）
12 月	10 日	2025 年 4 月から地域勤務を開始する病院の公表
	27 日	「第 11 回 岡山県臨床研修連絡協議会」の開催

年次報告書

2024 年 1 月～ 12 月

< 発行 2025 年 3 月 >

岡山県地域医療支援センター

〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下 2-4-6

岡山県保健医療部医療推進課内

TEL : 086-226-7381 / FAX : 086-224-2313

E-MAIL : chiikiiryu-center@pref.okayama.lg.jp

<https://chiikiiryuokayama.wixsite.com/centerokayama>

<https://www.facebook.com/chiikiiryu33>



(ホームページ)

岡山県地域医療支援センター 岡山大学支部

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町 2-5-1

岡山大学医学部 MUSCAT CUBE 2 階

TEL : 086-235-6833 / FAX : 086-235-6834

<https://www.okayama-u-chiikiokayama.jp/>



(facebook)